

発表者 浅川正樹

所属研究室 ビジュアルデザイン研究室・共通実技科目研究室

■発表対象科目

- 1年「ビジュアルデザインⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳa」担当：田崎
- 1年「デジタル表現基礎」担当：浅川
- 3年「ビジュアルコミュニケーションデザイン表現Ⅰ」担当：久保
- 4年 ビジュアルコミュニケーションデザイン専攻「美術研究Ⅰ」担当：リースナー

■授業実施ツール・方法

Google Classroomによる遠隔授業

■授業実施に際し、工夫した点や今後の授業運営で活用できそうな点

パソコン、タブレット端末を所有していない学生が、スマートフォンだけでなるべくストレス無く遠隔授業を受講できることを最大の課題、目標とした。特に1年生は大多数の、ほぼ全員の学生が画面の小さなスマートフォンで受講しているため、実技レクチャーは動画と静止画の両方を用意し、極力理解しやすいプレゼンテーションに努めた。

また、大学PC教室で導入されているデザインアプリケーション Adobe Creative Cloud が使えないので、1年「デジタル表現基礎」を始めとして、2年以降のビジュアルコミュニケーションデザインコース実技で活用できるスマホでも使用可能な無料のデザインアプリケーションを紹介し、さらにそれらのチュートリアル資料を作成した。

■問題点や改善点、成功事例

授業で制作する成果物において要求されるデザインクオリティーが上級生ほど高くない低学年においては、スマホでも使用可能な無料のデザインアプリケーションが有効に活用できることが実証された。3年以降の上級生に関しては、パソコンや Adobe Creative Cloud を自分自身で購入し、制作環境の整備に関して努力するよう指導はできるものの、強制力はないので、できれば大学が何らかの支援体制を整備することが望ましい。

また、自宅での通信環境が不十分な学生も少なからず存在することも懸念事項である。

■学生からの要望・意見に対する対応事例

教員が推奨する、スマホでも使用可能な無料のデザインアプリケーションがインストールできない古い機種を持っている学生がごく稀に存在し、その学生のためだけに汎用的に使えるアプリケーションを紹介し、さらにチュートリアル資料を作成した。